



発行者:玉縄城址まちづくり会議 荒井 章 ☎ 0467-45-7411 〒247-0073 鎌倉市植木 425-16

E-mail artbank21@nifty.com URL <http://tamanawajo.sakura.ne.jp/>

# 玉縄城址を次世代につなぐ史跡指定へ

当会は6年前から進めている保全活動をもとに、玉縄城址遺構の史跡指定を提案してきました。その結果、8月の文化財専門委員会で「審議継続」が決り、これから市の文化財部を通して遺構の詳細データ提出を行います。

玉縄城址を次世代につなぐ史跡指定の可能性が、ようやく開けてきました。

## 焰硝蔵Ⅱ植木2号緑地遺構の保全

この作業は、放置されている鎌倉市の歴史遺構緑地の保全を、市に余力がないならば市民が肩代りする―そのモデル事業だとも考えています。ここまでの作業で七曲り古道に続く荒果てた堀切と平場が鮮やかに甦りました。次は、焰硝蔵斜面地の竹林を伐採整備し、周遊路を

つくる計画を検討しています。

## 蹴鞠場保全でわかってきたこと

玉縄城の蹴鞠場は全国的にも殆ど例をみない貴重な史跡です。ここに繁茂していたアズマネザサの刈込と梅林剪定の第一次作業の結果、藪に隠れていた土塁や堀切など、魅力的な遺構の全体像が現れてきました。

8月には、説明看板を制作。蹴鞠場を始め、諏訪壇、大手門上のパノラマ、焰硝蔵上への設置が完了しました。

## 諏訪壇三角平場の城郭的意味

ここは城を攻める敵に上から応戦する「矢射ち場」であり、真下にみえる七曲坂平場(武者だまり)との立体

的な遺構を形成していることも分かってきました。9月から詳しい調査と藪の刈込み作業に入ります。

## 文化庁委託事業の指定を受ける

重文古民家と歴史民俗資料館とを、玉縄フィールドミュージアムの中核施設として位置づけ「地域につなぐ」当会の活動が、文化庁委託事業の指定を受けました。文化を繋ぐ、歴史を繋ぐ、手技を繋ぐ、人を繋ぐ、未来へ繋ぐ、5つの活動です。平成23年1月の玉縄ふるさと館のリニューアルオープン以来の発想と汗かきが認められたものと、よろこんでいます。

また鎌倉市は、このほど都市マスタープランの地域活性化拠点に「玉縄城跡周辺地区」と記載しました。市民と行政の協働による「歴史まちづくり」は、いよいよこれから本番です。



焰硝蔵平場から堀切の眺め



植木2号緑地の平場が甦った



蹴鞠場をTV取材する泉秀樹さん



玉縄城を偲ぶコースの案内看板

## 【文化庁委託事業】となった当会活動

このほど、重文古民家と歴史民俗資料館を、玉縄のワールドミュージアムの中核施設と位置づけ、「地域をつなぐ活動」として、私たちの提案した鎌倉・玉縄の重文古民家と歴史民俗資料館の管理活用事業が、文化庁委託事業の指定を受けました。

◆文化を繋ぐ…若い母親を対象とした「昔のくらし衣食住」ワークショップ

9月17日(木) 10時重文古民家  
◆歴史を繋ぐ…地域史の素晴らしさを再発見セミナー 重文古民家  
10月17日(土) 13時00分

◆手技を繋ぐ…展示中の大八車、唐箕、手桶等の補修・竹細工制作展示  
7月～11月中活動

◆人々を繋ぐ…重文古民家と歴史民俗資料館で市民キュレーター養成講座  
11月10日、17日、24日

◆未来へ繋ぐ…小学生の体験学習強化  
1月～3月鎌倉市の小学生900人が昔の暮らしを体験する。

以上、5つの「つなぐ事業」、これらを玉縄城文化創生事業の一環として進めます。平成23年1月の玉縄ふるさと館リニューアルオープン以来の活動が認められて、私たちの汗かきにも一段と力が入ります。

ご一緒に活動致しましょう。

## 文化庁委託事業 人を繋ぐ：重文古民家と歴史民俗資料館《市民キュレーター養成講座》

日時：平成27年11月10日、17日、24日 各火曜日 受講料：2000円(全4単位) 定員：20名

会場：重要文化財旧石井家住宅、歴史民俗資料館

第1回：ワークショップ(民具補修と動態展示の実習) 講師：横浜市立歴史博物館 鎌倉市教育委員会

第2回：古民家の管理について 講師：鎌倉市教育委員会 鎌倉国宝館

第3回：玉縄ふるさと館における資料展示の企画立案及び展示の実習 講師：鎌倉市教育委員会

重要文化財(建造物)旧石井家住宅及び玉縄ふるさと館の案内リーフレットの内容検討

玉縄ふるさと館で【手技を繋ぐ】：展示品のリストづくり、民具、農具の展示替えと修復を7月～8月で5回実施



鎌倉高校生、インターンシップの大学生もボランティア参加。アッ！この樽の寄贈札にご先祖様の名前が書いてある！



重い石臼もモッコと天秤棒で1階の「体験学習コーナ」へ移動。 動態展示用の唐箕を磨いて、さて動くかな？

## 文化庁委託事業【昔の暮らし衣食住体験】ワークショップ

日時：9月17日(木)10時～13時半 無料

★体に優しい旬の和食の話と試食 講師：渡邊公子

★色々な和包丁の研ぎ方を指導 講師：刀匠 山村綱廣

## 戦国時代鎌倉の歴史遺産デジタルアーカイブ事業

鎌倉の埋蔵文化財と玉縄城所縁の古文書、石碑などを調査し、市教育委員会文化財課との協働でリスト化、デジタルデータ化します。

玉縄城に行こう  
綱成に会おう



### 北条綱成の日。

2015年は北条綱成生誕500年です。玉縄城三代城主綱成は、相模、三浦、関東を制覇する後北条氏の戦いで、常に地黄八幡の背旗を靡かせ先陣を切り、「勝ったぞ勝ったぞ」と兵を励まし一度も敗れることがなかったといわれる名将でした。また城主としては善政を敷いてよく鎌倉・玉縄の民を守り、この地に「龍寶寺」も創建しました。玉縄地域の人々にとって最も身近な戦国時代の英雄だったので、十月十七日は英雄「綱成の日」。玉縄龍寶寺で記念行事を開催します。

#### 第一部 《第3回玉縄城主墓前祭》

九時半〜法要会参列は玉縄

城址所縁の皆様

#### 第二部 《奉納・綱成演武セレモニー》

十時〜一般自由参加

#### 第三部 《玉縄城遺構探索会》

十時半〜予約制六十名

#### 第四部 文化庁委託事業

《演武・歴史シンポジウム》

十三時〜重文古民家



玉縄城主菩提寺 龍寶寺本堂



昨年の奉納古武道演武



国指定重要文化財 旧石井家住宅

参加者募集  
《玉縄城遺構探索会》  
九時半 山門前集合  
玉縄ふるさと館で受付  
本堂前の綱成セレモニーに参加後、《探索会》に出発  
七曲坂遺構群・龍寶寺  
十二時二十分古民家で昼食  
参加費：500円  
《演武と歴史シンポジウム》  
綱成演武…赤羽根大介  
講演…山口博氏  
・真鍋淳哉氏  
放談…伊藤一美氏  
参加費：2000円  
\*必ず予約申し込下さい



七曲坂のシンボル 冠木門

予告：9月26日(土) 7時  
44分〜NHK「マイあさラジオ」の「歴史を探して」  
で伊東潤さんに玉縄城の  
紹介をして頂きます。



第51回小田原北条五代祭り 5月3日、鎌倉市の代表として招待され20人で参加しました。早雲の次男、初代玉縄城主北条左馬之助氏時隊としてパレード。3回目のベテラン武将、幟旗がはためき、辻ごとに「玉縄城参上！」の声上がり行列を盛り上げました。同行の応援団も存分に祭りを楽しみました。来年はぜひ一緒に行きましょう！

### 玉縄城里山復活プロジェクトに 民間助成を活用

玉縄城址の緑地保全活動に、損保ジャパン日本興亜環境財団 大成建設自然・歴史環境基金 イオン環境財団の活動助成を受けました。

年間40日を超す里山の様々な活動に活用しました。作業機材の購入で下草刈りがはかどり、プロワの威力で七曲坂の階段はピカピカ！。

アイディアで門を作り、間伐材で目の前で階段が生まれる、個性溢れる男性会員は兄弟のように信頼関係で繋がります。女性会員は力仕事でも大活躍！汗かきの後はみんな爽快な笑顔です。森には自然の恩恵が一杯。藪の中から貴重な野草が芽を出していたり、クヌギの幹にはカブトムシが樹液に集まり、幼稚園児の宝物。



蹴鞠場の草刈りはマンパワーで



危険な作業は造園の専門家に依頼



間伐材で作業用手作り階段完成



玉縄城を偲ぶコースに分かり易い看板を多数設置していきます。

里山の生物多様性を目のあたりにもきます。緑地面積は4000㎡以上に広がり、里山ボランティアの活動範囲を超える仕事は造園の専門家に依頼し、来年も保全作業を進めます。玉縄城址周辺の緑地保全、里山復活を目指して落葉樹、野草の植栽、環境教育の里山学校開催など、ボランティア活動に力が入ります。

### 里山ボランティア活動日

★歴史の道「七曲坂」アダプトと整備  
第1土曜日 9:00～12:00

★植木一号市民緑地「太鼓櫓址」整備  
植木二号緑地「焰硝蔵址」城址遺構群「蹴鞠場、三角平場」の保全  
第2 第3土曜日 9:00～15:00

「一緒にいい汗をかきませんか！」  
雨天順延です。七曲坂の掲示板で  
ご確認ください。

### ▲第九回総会から

4月11日(土) 玉縄学習センターで開催しました。  
新たな陣容と総予算227万円  
で本部、文化、里山の各事業  
及び来年度の十周年記念事業  
に取組みます。

会長 荒井章  
副会長 田中八郎 正木重郎

理事 兵藤芳朗

理事 中村省司 荒井幸子

増川勇次郎 松田明

大竹正芳 横内宏明

加藤明彦 荒木俊彦

寺口順子 森靖子

山本日出子

監事 梅田良光 渋木嘉孝

顧問 熊代徳彦 伊藤一美

推進委員 十五名

### 【七曲坂の野草】⑨ 藪ミョウガ

日照の少ない土地を好み、七曲坂斜面や蹴鞠場などで見られる。花期は8月、花は一日花として終え青藍色の実をつけます。木漏れ日も射さないような中で咲く白い花は一層目立ちます。名前は葉の形が似ているのでついた。関東以西で分布し、私の故郷の山形ではみられません。(増川勇次郎)



### 【編集からのお願ひ】

◆龍寶寺「玉縄ふるさと館」歴史民俗資料館の展示品を充実させています。「花嫁衣装、半纏、大正時代のアイロン、ランプ」などを探しています。ぜひご寄贈ください。

◆昔の暮らし調べで玉縄ふるさと館を訪れる学童と楽しい2時間を過ごしませんか。見守りボランティアを数名募集中！ご連絡ください。(荒井幸子)

☎ 45・7411、メール・HPで問合せください。